

平成29年12月1日

水素技術センターの開所について

一般社団法人水素供給利用技術協会(以下、「HySUT」という。)が、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、「NEDO」という。)の委託を受け、山梨県米倉山県有地内(甲府市下向山町)に建設を進めていた水素技術センターが完成し、実環境下での研究開発が可能となりました。

1 開所日 平成29年12月1日(金)

2 場 所 山梨県甲府市下向山町3157番地

3 概 要

経済産業省が設置した産学官の有識者で構成される水素・燃料電池戦略協議会では、水素・燃料電池戦略ロードマップ(平成26年6月策定、平成28年3月改訂)をとりまとめ、水素社会の実現に向けて官民が連携した取り組みを進めています。

燃料電池自動車の普及に必要な水素ステーションの整備に関しては、具体的な整備目標を設定するとともに、水素ステーションの整備・運営コストの低減や水素に係る安全・安心の確保など具体的な取り組みが示されているところです。

こうした状況を踏まえ、水素ステーションのより一層の普及拡大のための事業をNEDOから委託を受け、HySUTが、オフサイト型の商用ステーションの標準的な仕様を備えた「水素技術センター」を整備(別紙詳細)し、水素ステーション全体または部品・構成機器に関する水素の実環境下での一層の安全・安心に資する技術開発、並びに水素ステーションの運転・管理手法の更なる高度化をはかる技術開発を行います。

問合せ先:

(一社)水素供給利用技術協会 情報・渉外部 栗津(TEL: 03-3560-2802)
技術1部 小林(TEL: 03-3560-2804)

(別紙詳細)

水素技術センター概要

○水素技術センターの仕様

本センターは、商用水素ステーションの標準的な仕様を備えた充填施設であるのに加え、最高充填圧力 87.5MPa の充填にも対応可能な施設です。

表 水素技術センター設備仕様(※1)

設備	仕様
水素ガス受入設備	19.6MPa カードル 3 基受け入れ可能
圧縮機	流量: 340Nm ³ /h 以上 吐出圧力: 87.5MPa
蓄圧器	常用圧力: 87.5MPa 容量: 300L x 4 本 材質: 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製(Type3)
ディスペンサー	常用圧力: 87.5MPa JPEC-S0003 の充填に加え、直充填制御等にも対応可能

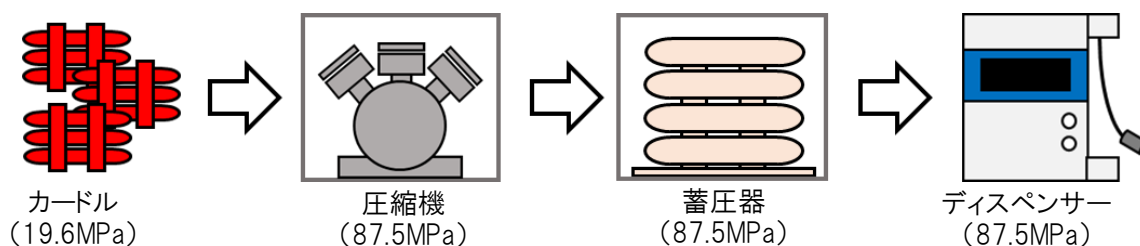
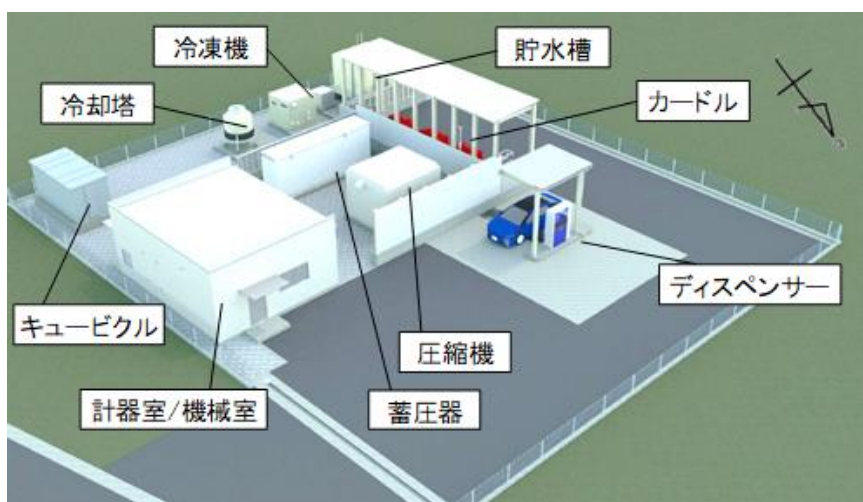


図 設備フロー

○水素技術センター完成図(※1)



※1 NEDO 成果報告会(平成 29 年度)資料より